

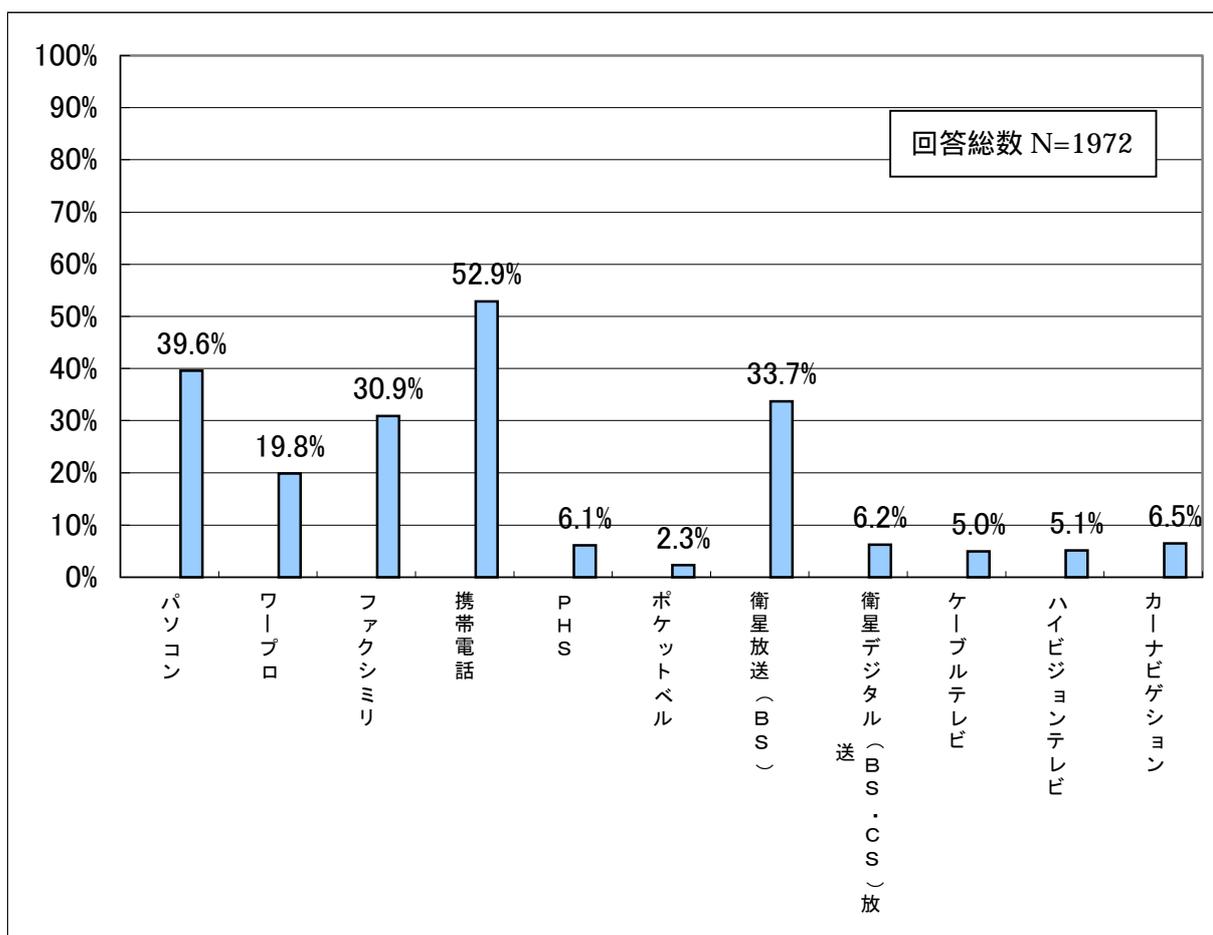
第2章 調査結果

1. 家庭における情報通信機器の所有状況、情報通信サービスの利用状況

(1) 全体像

< 1 > 問1 .あなたは、次の情報通信機器や情報通信サービスをご家庭で利用していますか。

図表5 情報通信機器・情報通信サービスの利用状況

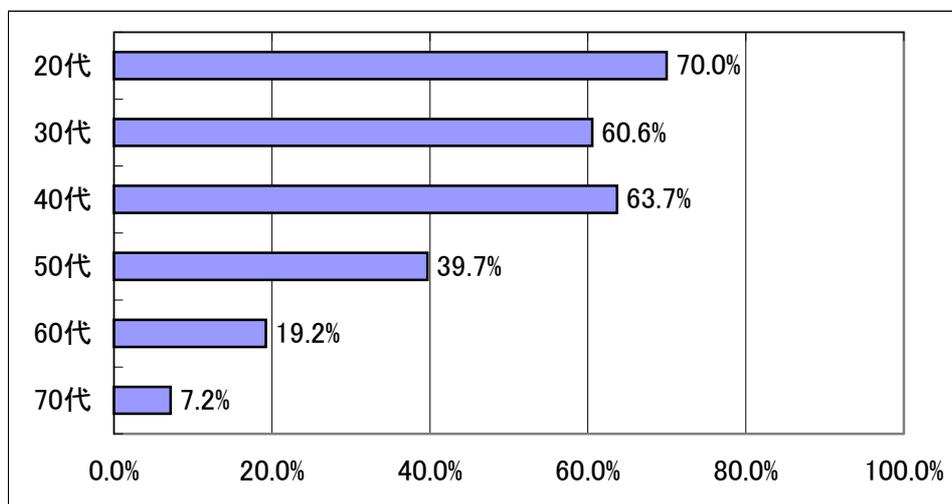


- ・ パソコンの所有率は、39.6%となっている。
- ・ 携帯電話の所有率は52.9%と高く、逆にPHSの所有率は6.1%、ポケットベルの所有率は、2.3%と低い。
- ・ ファクシミリ、衛星放送 (BS) の所有率は30%を超えている。

(2) パソコンの所有に関する分析

年代別所有状況

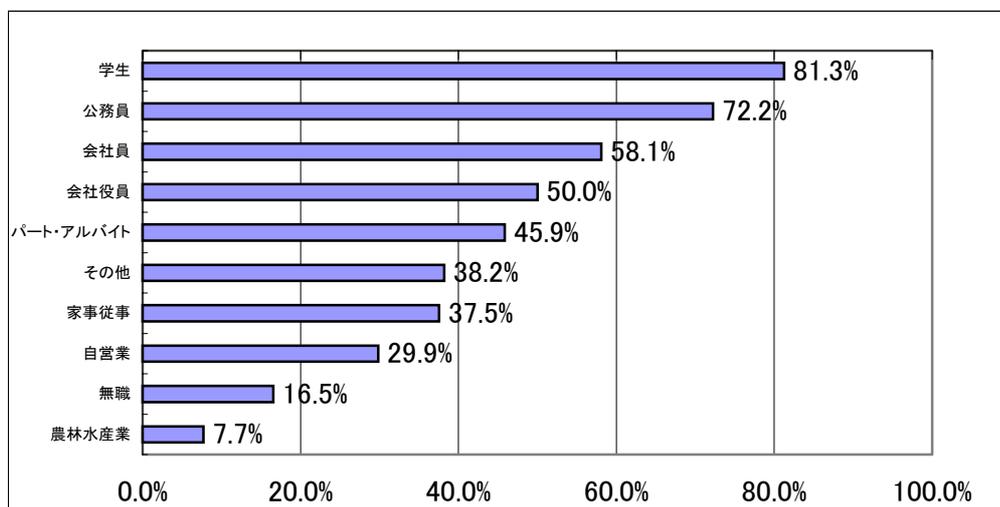
図表6 年代別パソコン所有状況



- ・ 20代から40代は、60%を超えている。
- ・ 50代以上になると、年代が高くなるにつれて所有率が低くなり、70代では、7.2%と最も低くなっている。

職業別所有状況

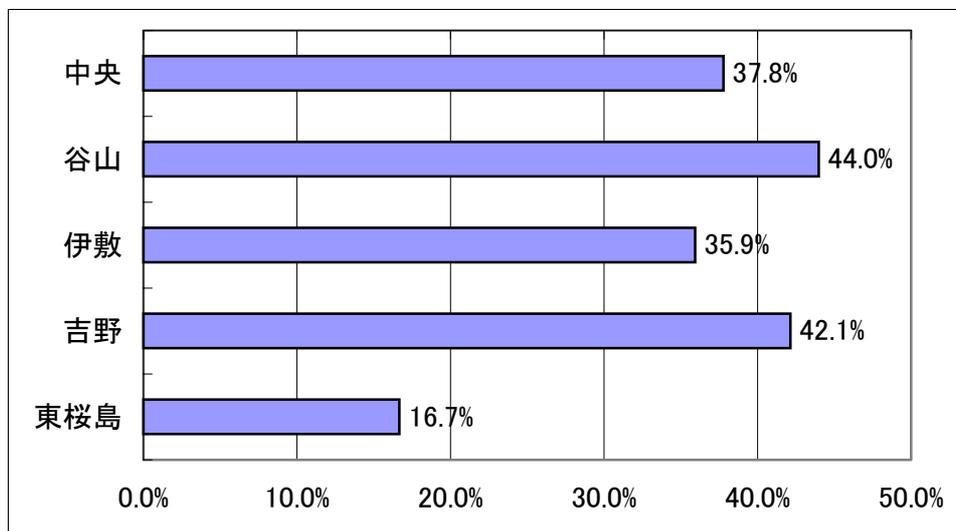
図表7 職業別パソコン所有状況



- ・ 職業別にみると「学生」が81.3%と最も高い。
- ・ また、全体の所有率(39.6%)より高い値を示しているのは、「公務員」「会社員」「会社役員」「パート・アルバイト」の主に事務系の職業となっている。
- ・ 所有率の低い職業は「農林水産業」の7.7%で、次いで「無職」の16.5%である。

地域別所有状況

図表 8 地域別パソコン所有状況



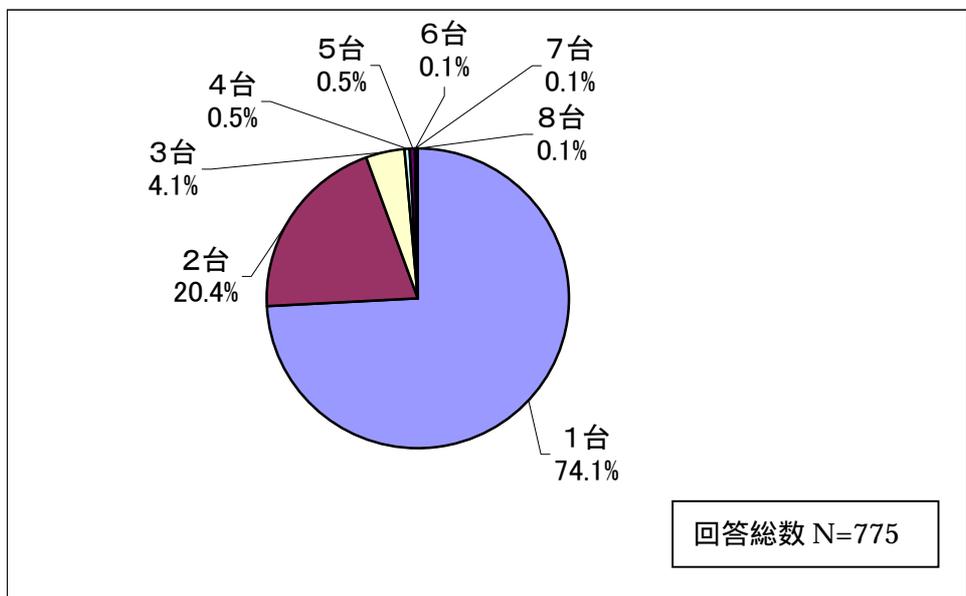
- ・ 回答者数に開きがあるため単純に比較はできないが、地域別では、東桜島を除き、どの地域も比較的同水準の所有率となっており、市内においては、さほど大きな地域格差はないといえる。

所有者の現状

ア．所有台数

< 2 > 問1．ご家庭でパソコンを何台お持ちですか。

図表9 家庭でのパソコン所有台数

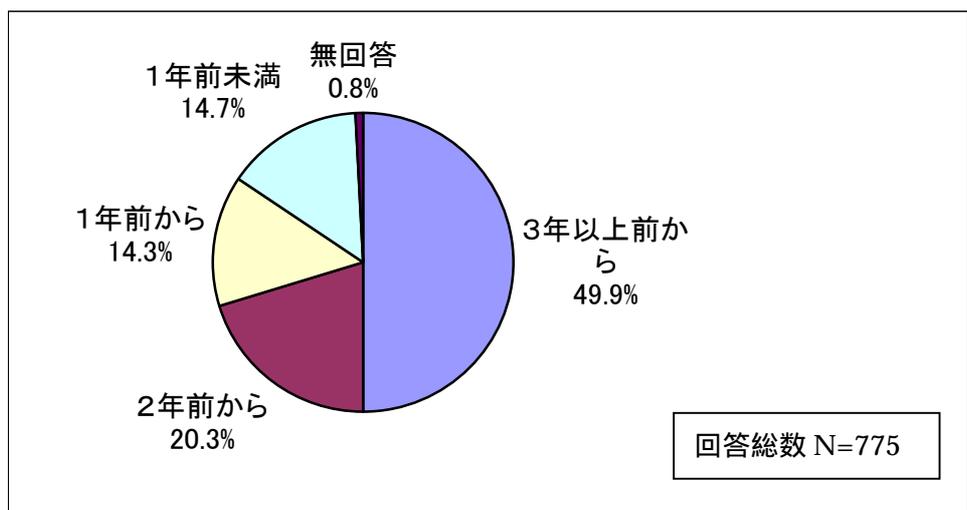


- ・ パソコンを所有している家庭のうち、74.1%と大多数の家庭は、パソコンを1台所有しているが、25.8%の家庭は複数台所有している。

イ．所有開始時期

問2．いつからご家庭にパソコンがありますか。

図表10 家庭でのパソコン所有開始時期

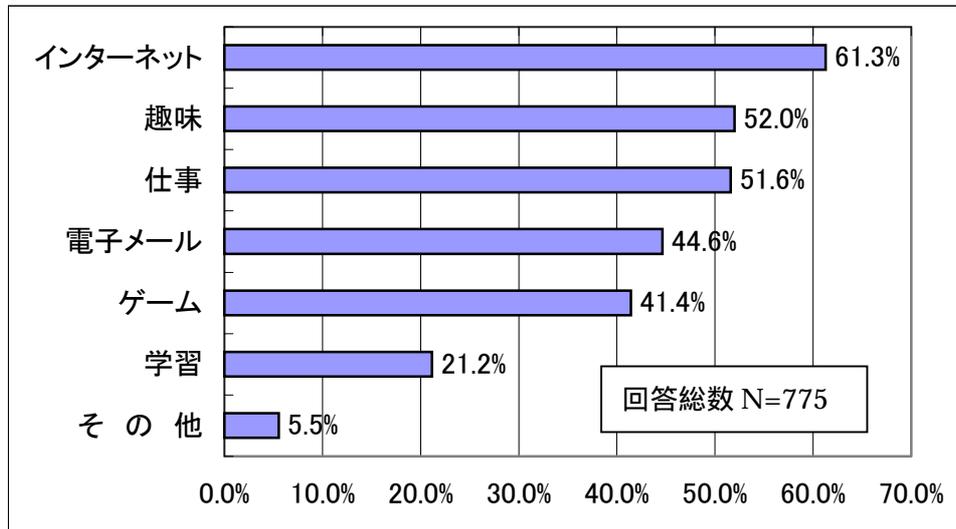


- ・ 所有者の約半分の家庭が「3年以上前から」パソコンを所有しているが、49.3%の家庭は、ここ1～2年の間に所有し始めている。

ウ．利用目的

問3．ご家庭のパソコンをどのようなことに利用していますか。

図表11 家庭でのパソコン利用目的

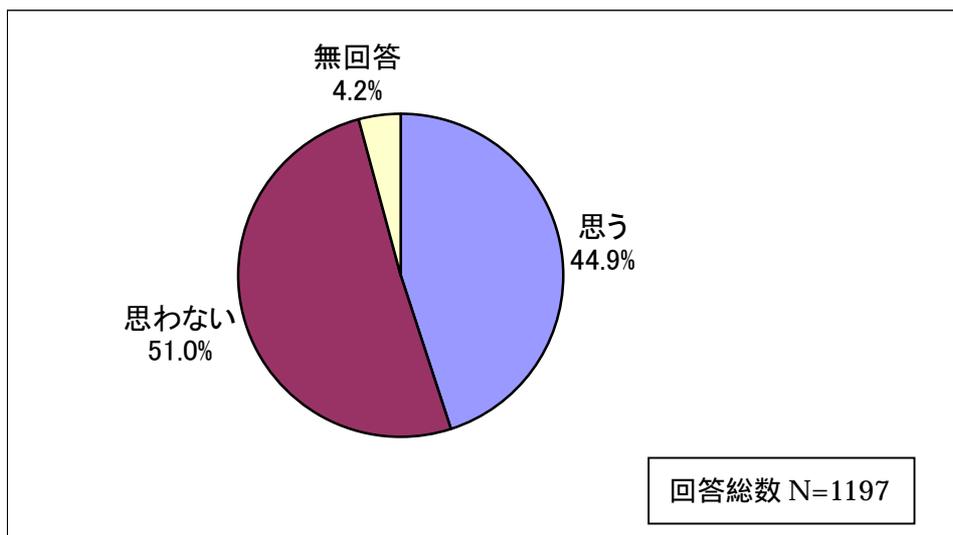


- ・ 家庭におけるパソコンの利用目的は、「インターネット」が61.3%と最も多く、次に「趣味」が52.0%と、娯楽的な要素でより多く利用されている。
- ・ その他の回答には、地域の役員・町内会・PTA等勤務先以外の団体での資料作成や家計簿処理、デジカメで撮影した画像処理などの回答があった。

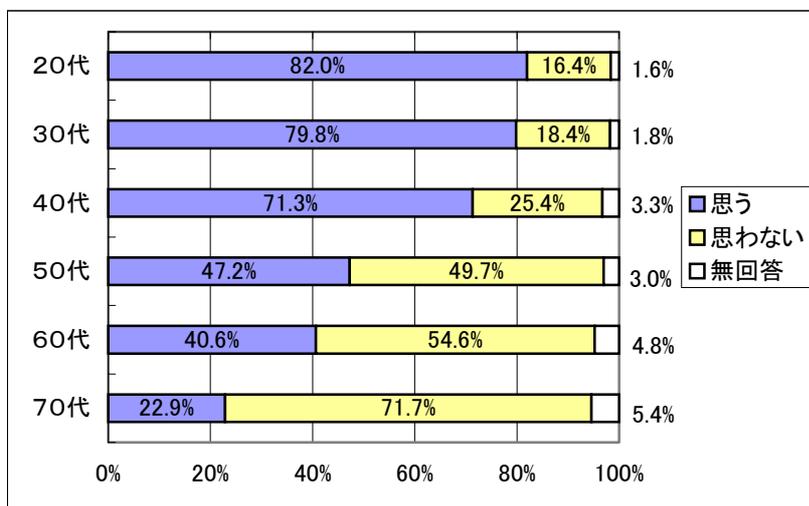
非所有者の意識

< 3 > (パソコンを家庭で所有していない回答者に対して)
これから持ちたいとおもいますか。

図表 1 2 パソコン所有願望



図表 1 3 年代別パソコン所有願望



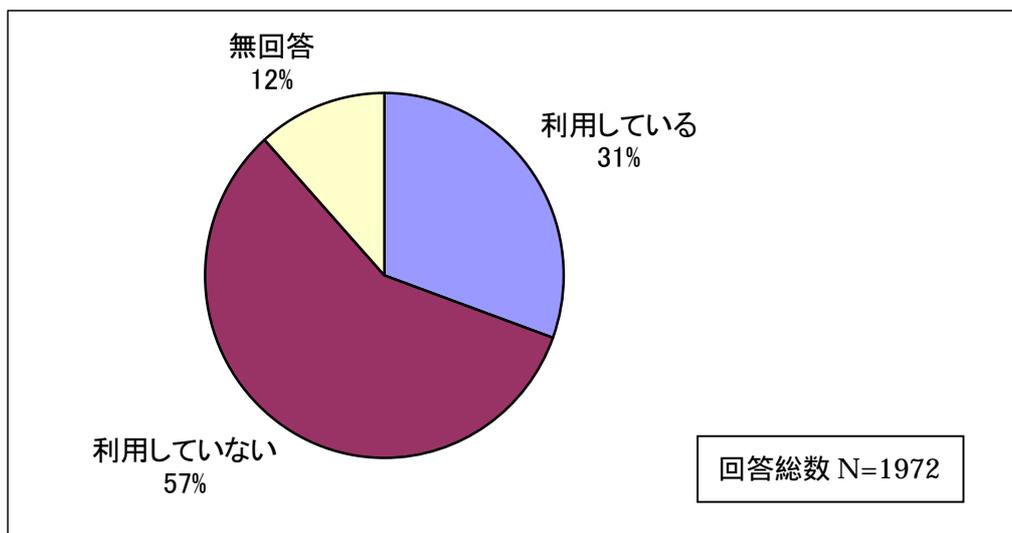
- ・ パソコンを所有していない人のうち、「これからもパソコンを持ちたいとは思わない」という回答が、51.0%と、持ちたいと思う人を上回っている。
- ・ 年代別にみると「持ちたいと思う」という意向は、20代が82.0%と最も高く、年代が高くなるにつれて所有願望が低くなる。
- ・ 「持ちたいと思わない」理由として、「必要性を感じない」「高齢だから」「操作が難しい」などがあつた。

家庭以外の場所でのパソコンの利用状況

利用状況

< 4 > 問1. あなたは、現在ご家庭以外のところでパソコンを利用していますか。

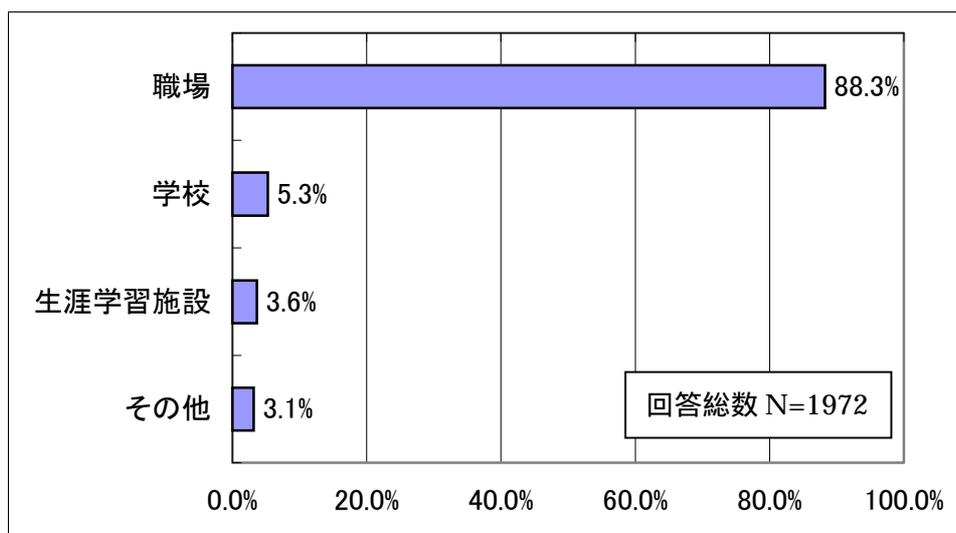
図表14 家庭以外でのパソコンの利用状況



利用場所

問2. どこで利用していますか。(複数回答)

図表15 家庭以外でのパソコン利用場所

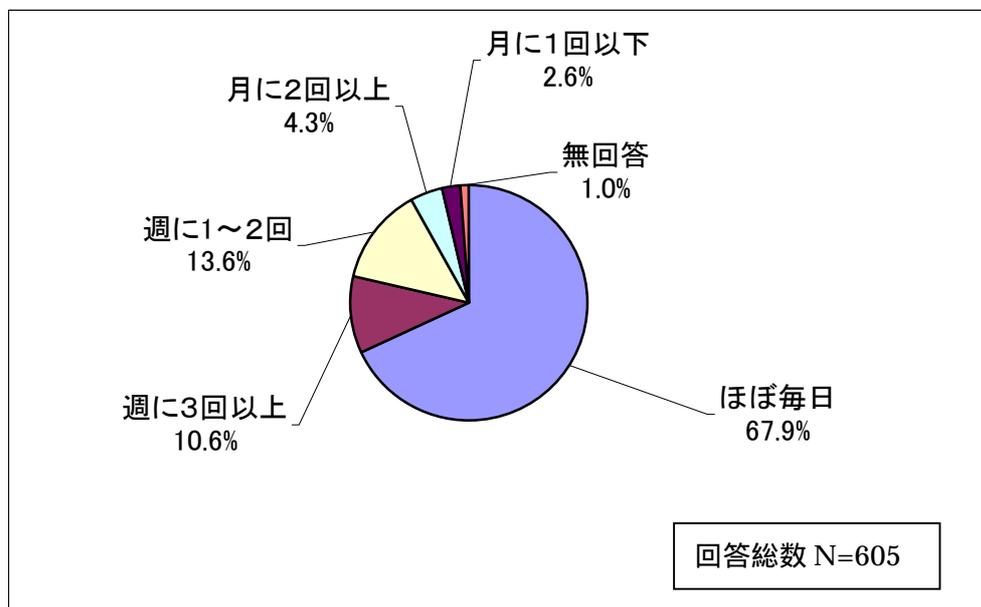


- ・ 全体の約3割の人が、家庭以外でパソコンを利用しており、その中の88.3%の人の利用場所が職場であり、ほとんどが職場での利用となっている。

利用頻度

問3 . 平均してどれくらいの頻度で利用していますか。

図表16 家庭以外の場所でのパソコン利用頻度

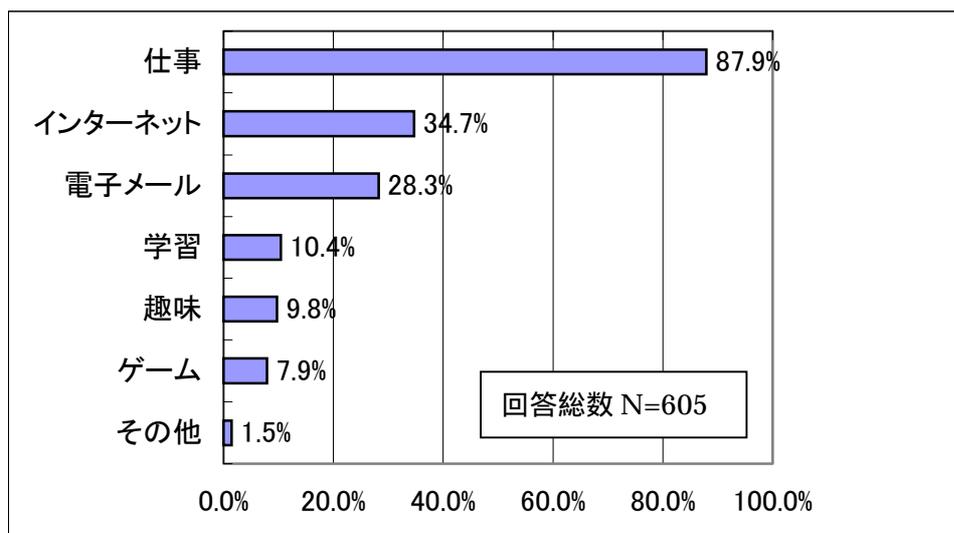


- ・ 家庭以外でのパソコンの利用頻度は、「ほぼ毎日」が、67.9%と最も高い。全体の約9割の人が、週に1回以上利用している。

利用目的

問4 どのようなことに利用していますか。(複数回答)

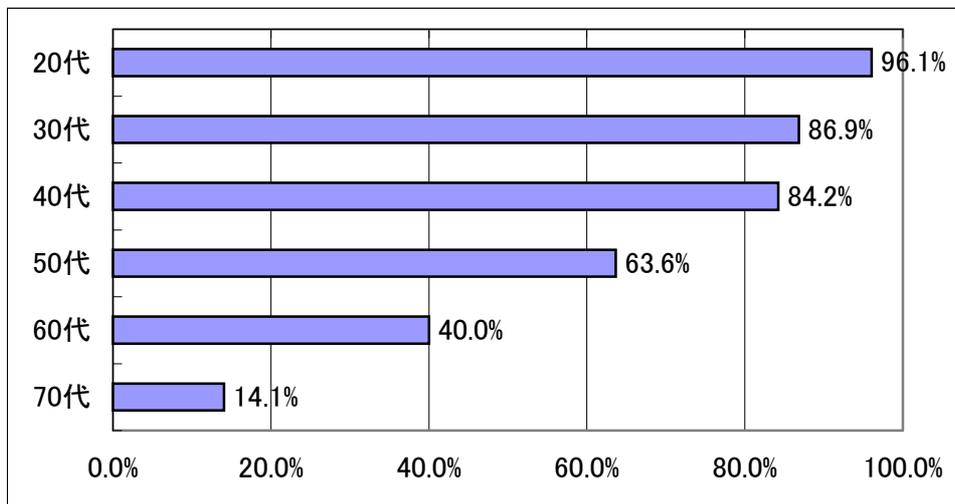
図表17 家庭以外の場所でのパソコン利用目的



- ・ 家庭以外の場所でのパソコンの利用目的は、「仕事」が、87.9%と高い値を示している。次いで、「インターネット」の34.7%、「電子メール」の28.3%となっている。

(3) 携帯電話・PHSの所有に関する分析
年代別所有状況

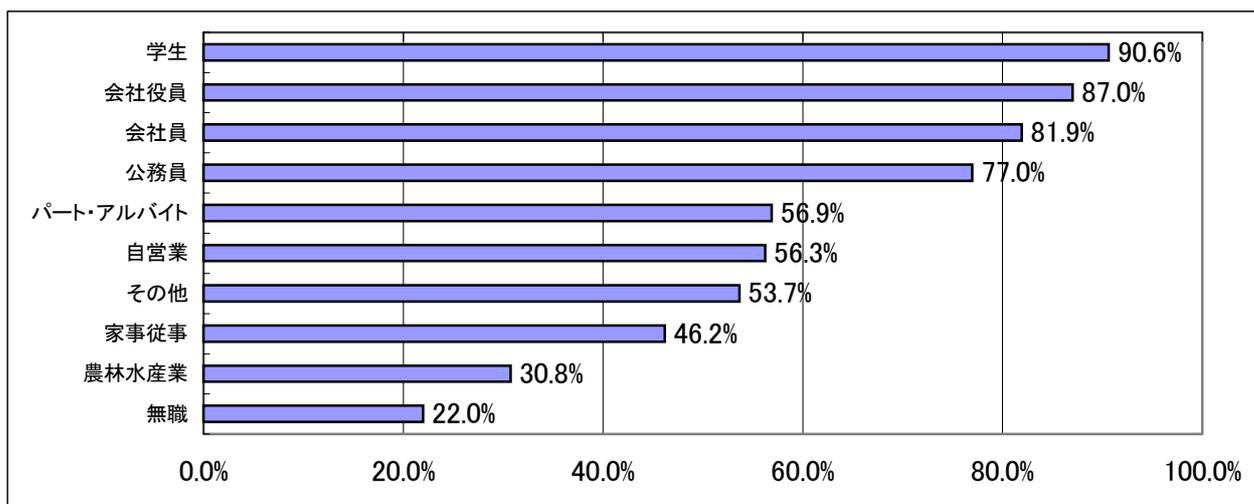
図表18 年代別携帯電話・PHS所有状況



- ・ 年代別にみると、携帯電話・PHSの所有率は、20代の96.1%が最も高く、70代では14.1%と最も低くなっている。
- ・ 20代から40代までの普及率は、いずれも80%以上の高い数値を示している。

職業別所有状況

図表19 職業別携帯電話・PHS所有状況

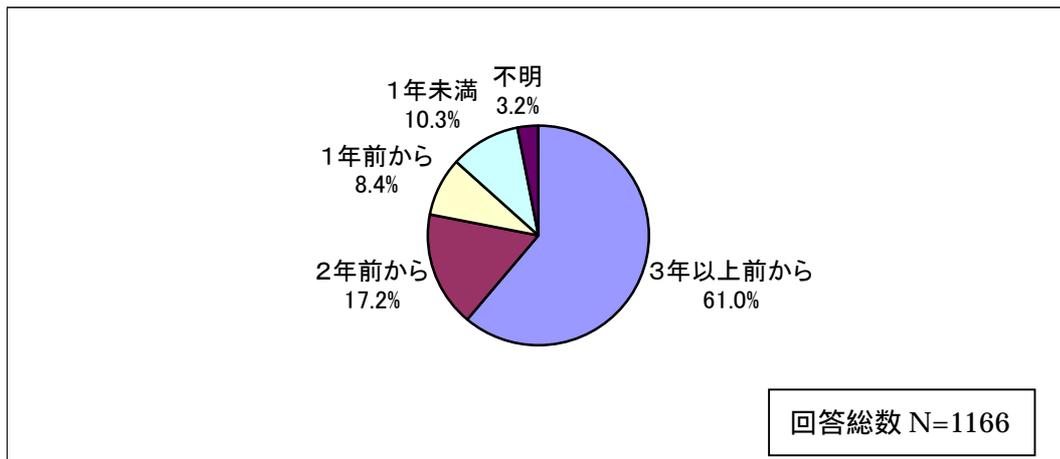


- ・ 職業別での携帯電話・PHSの所有率は、「学生」が90.6%と最も高く、次いで、「会社役員」「会社員」の順に80%を超える高い数値を示している。

所有者の現状
ア．所有開始時期

< 5 > (携帯電話又は PHS の所有に対する質問)
問 1 . いつから持っていますか。

図表 2 0 携帯電話等所有開始時期

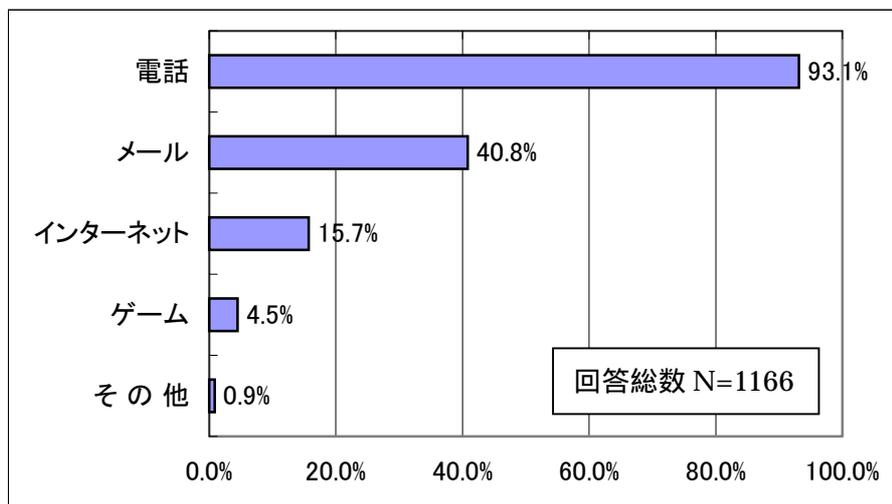


- ・ 所有者の 61.0% が、「3年以上前から」携帯電話又は PHS を所有しているが、35.9% の家庭は、ここ 1 ~ 2 年の間に所有し始めている。

イ．利用目的

問2．携帯電話（又はPHS）をどのようなことに利用していますか。（複数回答）

図表2-1 携帯電話等利用目的

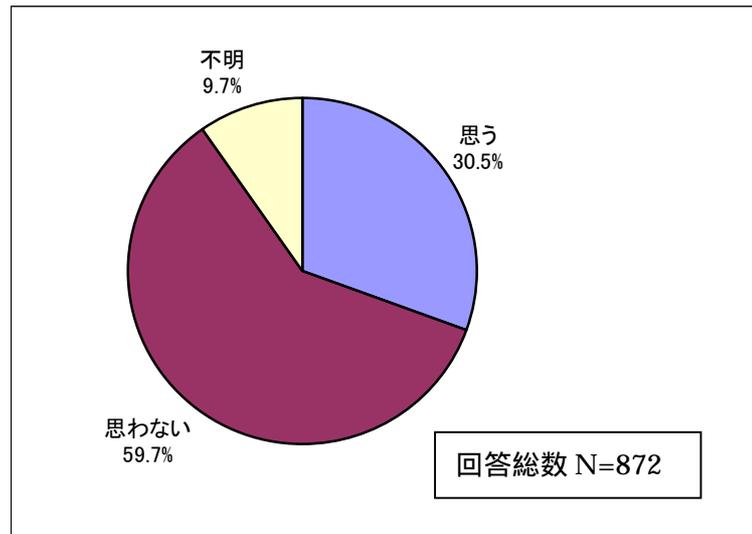


- ・ 携帯電話の利用目的は、文字どおり「電話」が93.1%と最も多い。また、「メール」が40.8%、「インターネット」を利用している情報収集が15.7%となっている。
- ・ 携帯電話をメールやインターネットなどに利用している人が合わせて50%を超えており、電話以外の通信手段としても活用されている。
- ・ その他の中には、「電話帳」「メモ帳」「時計代わり」といった回答があった。

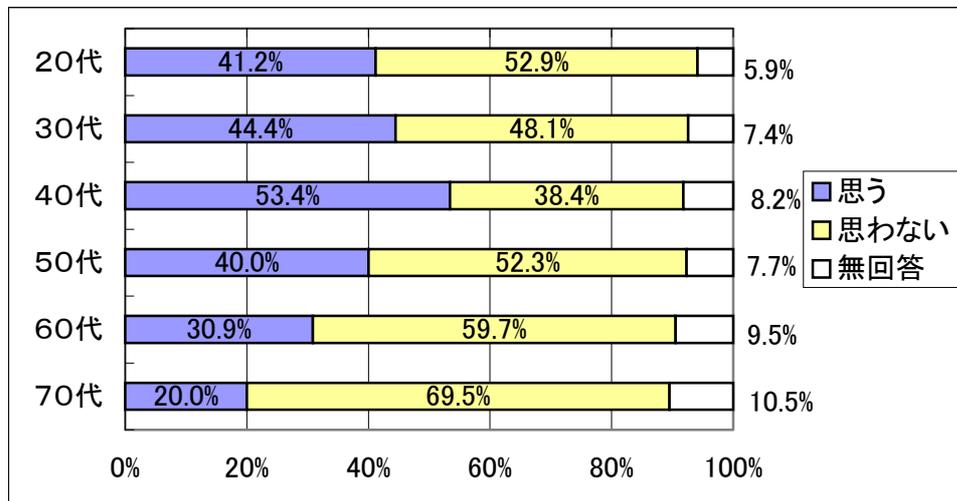
非所有者の意識

< 6 > (携帯電話等を所有していない回答者に対して)
これから持ちたいと思いますか。

図表 2 2 携帯電話等所有願望



図表 2 3 年代別携帯電話等所有願望



- ・ 携帯電話等を所有していない人のうち、今後持ちたいと思っている人は、30.5%で、思わない人の59.7%の約半数となっている。
- ・ 年代別にも、30代・40代を除くどの年代も半数以上の人々が、持ちたいと思わないと回答しており、特に70代では、持ちたいと思わない人が69.5%と、思う人を大きく上回っている。
- ・ 持ちたいと思わない理由では、「必要性を感じない」が大多数を占めている。

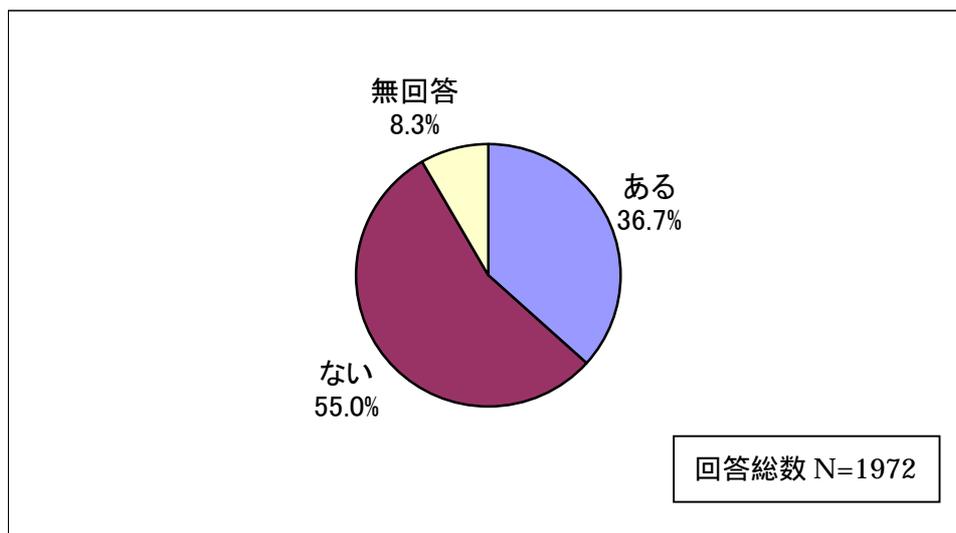
2. インターネットの利用状況

(1) 利用に関する分析

< 7 > 問1. あなたは、インターネットを利用したことがありますか。

全体の利用状況

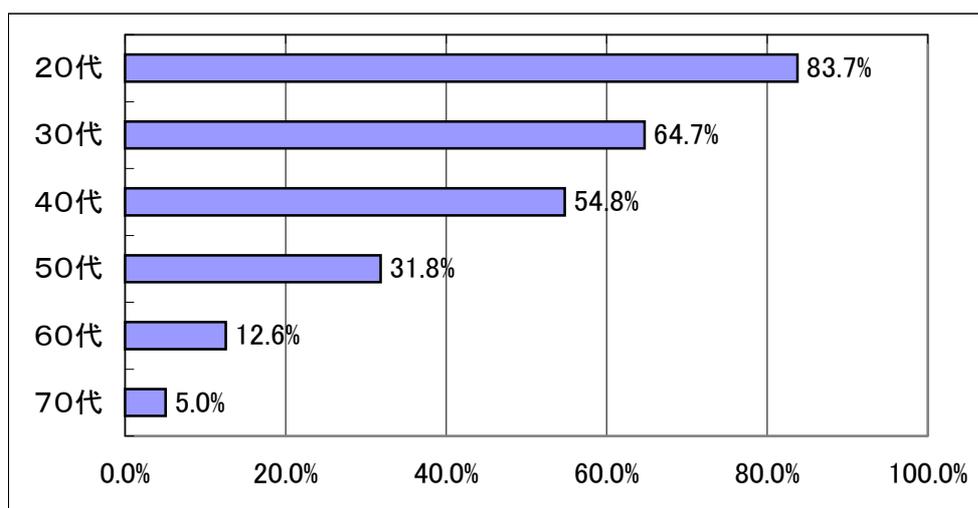
図表2.4 インターネット利用率



- ・ 鹿児島市におけるインターネット利用率は、36.7%である。

年代別利用状況

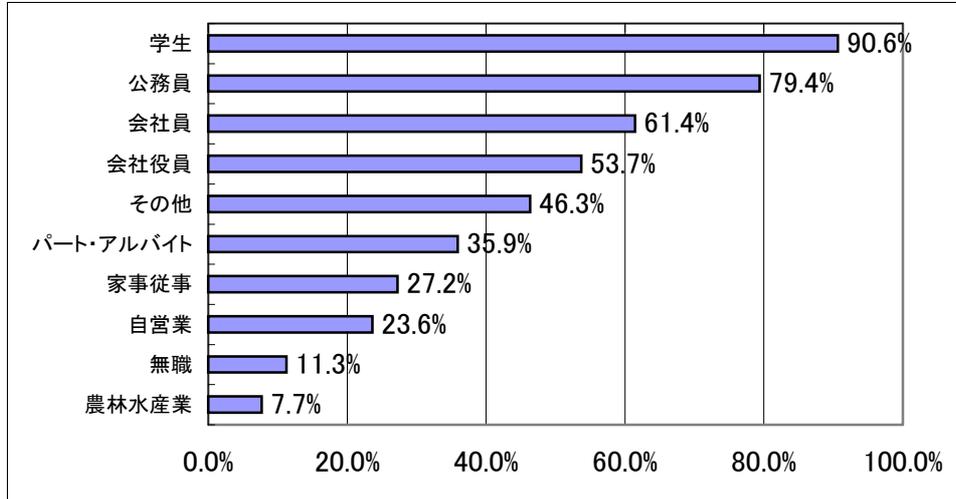
図表2.5 年代別インターネット利用率



- ・ 年代別では、20代の83.7%が最も高く、30代、40代も50%を超える人がインターネットを利用したことがあると回答している。
- ・ 50代以上は、どの年代も全体平均の36.7%を下回っており、特に70代では、低い数値を示している。

職業別利用状況

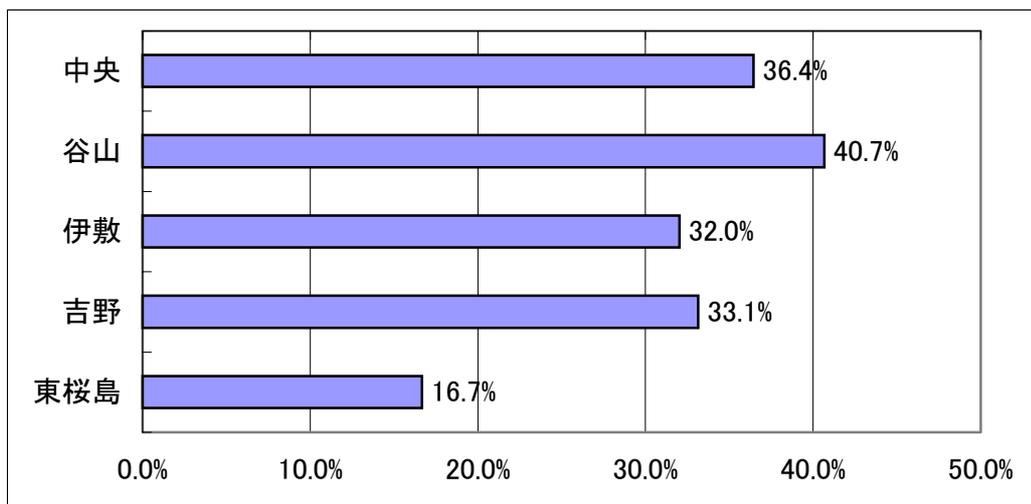
図表 2 6 職業別インターネット利用率



- ・ 職業別では、「学生」が90.6%と最も高く、次いで「公務員」が79.4%と高い数値を示している。「会社員」「会社役員」も平均値36.7%を超える数値となっており、事務所等に勤務する職業が高い結果となっている。

地域別利用状況

図表 2 7 地域別インターネット利用率



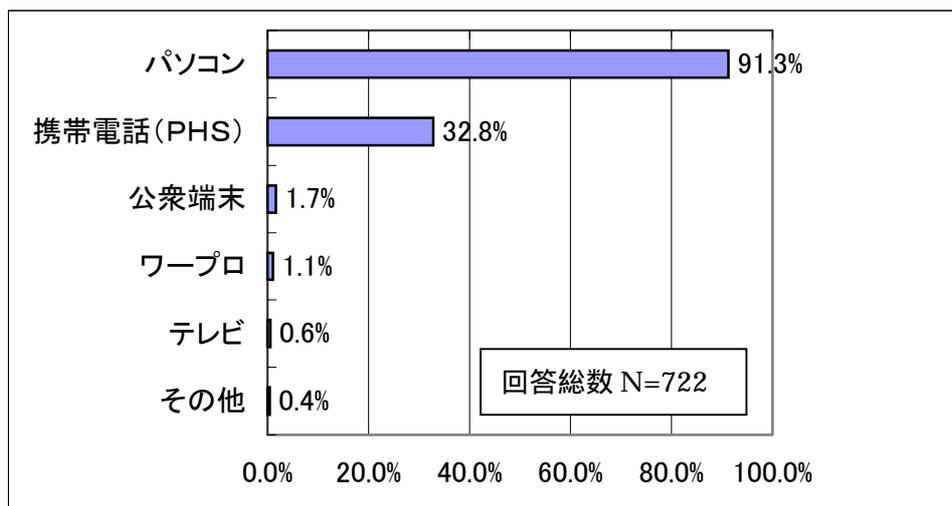
- ・ 回答者数に開きがあるため単純に比較はできないが、地域別では、パソコン所有状況と同様、東桜島を除き、ほぼ同水準となっており、地域格差はないといえる。

(2) 利用者の現状

利用機器

問2. どのような機器で利用していますか。(複数回答)

図表28 インターネット利用機器(複数回答)

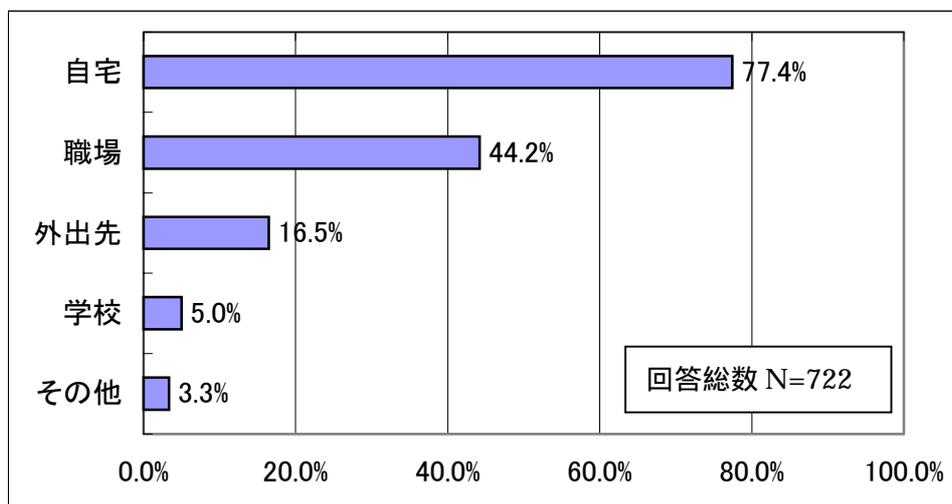


- ・ インターネットを利用する機器は、「パソコン」が91.3%と圧倒的に高い数値を示しており、次いで、携帯電話(PHS)の32.8%となっている。
- ・ その他の中には、「ゲーム機」や「電話機」などがあつた。

利用場所

問3．どこで利用していますか。(複数回答)

図表29 インターネット利用場所(複数回答)

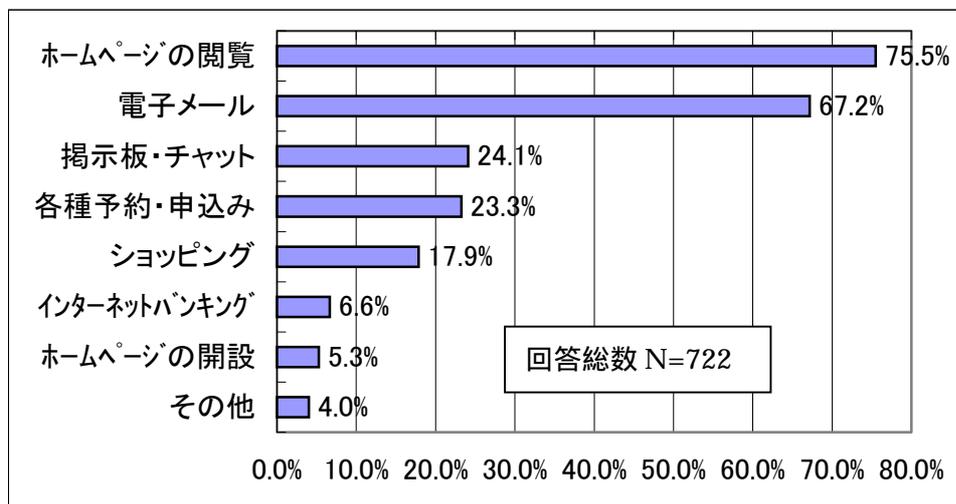


- ・ インターネットを利用する場所は、「自宅」が77.4%と最も多く、次いで「職場」が44.2%となっている。
- ・ その他の中には、「友人宅」や「パソコン教室」という回答が見られた。

利用目的

問4．インターネットをどのようなことに利用していますか。（複数回答）

図表30 インターネット利用目的（複数回答）

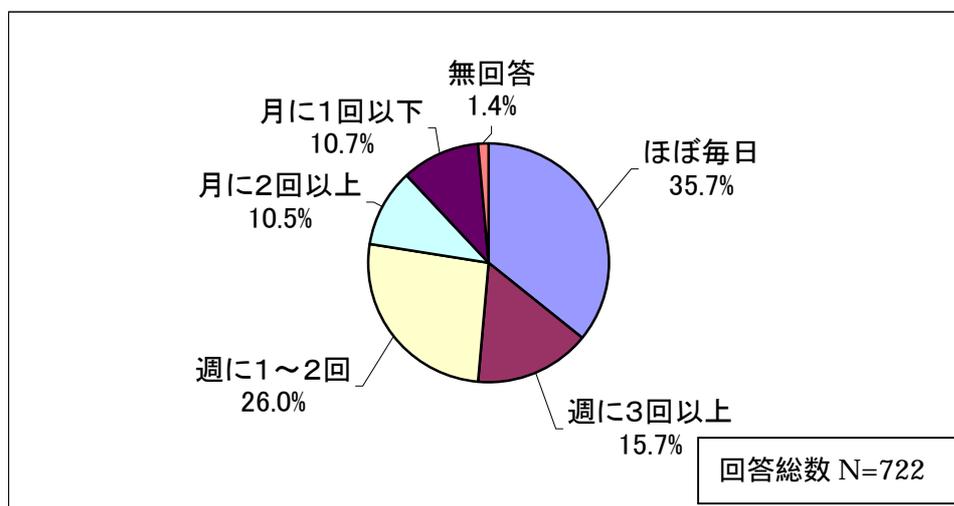


- ・ インターネットの利用目的は、「ホームページの閲覧」が75.5%と最も多く、次いで、「電子メール」の67.2%となっている。
- ・ 「掲示板・チャット」が24.1%となっており、「電子メール」以外のコミュニケーションツールとしても利用されている。
- ・ 「各種予約・申込み」や「ショッピング」「インターネットバンキング」などのインターネットによる新たなサービスに利用している人も見られる。

利用頻度

問5．平均してどれくらいの頻度で利用していますか。

図表3-1 インターネット利用頻度

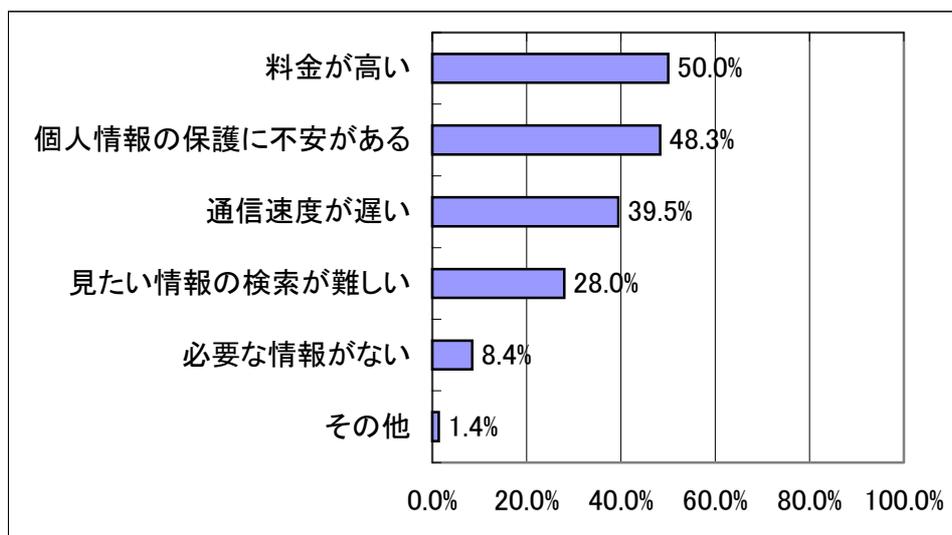


- ・ インターネットの利用頻度は、「ほぼ毎日」が、35.7%と最も多い。次いで、「週に1~2回」が26.0%、「週に3回以上」が15.7%となっている。
- ・ インターネット利用者の77.4%が週に1回以上利用している。

不満や不安

問6．インターネットについてどのようなことに不満や不安を感じていますか。
(複数回答)

図表3.2 インターネットに対する不満や不安(複数回答)

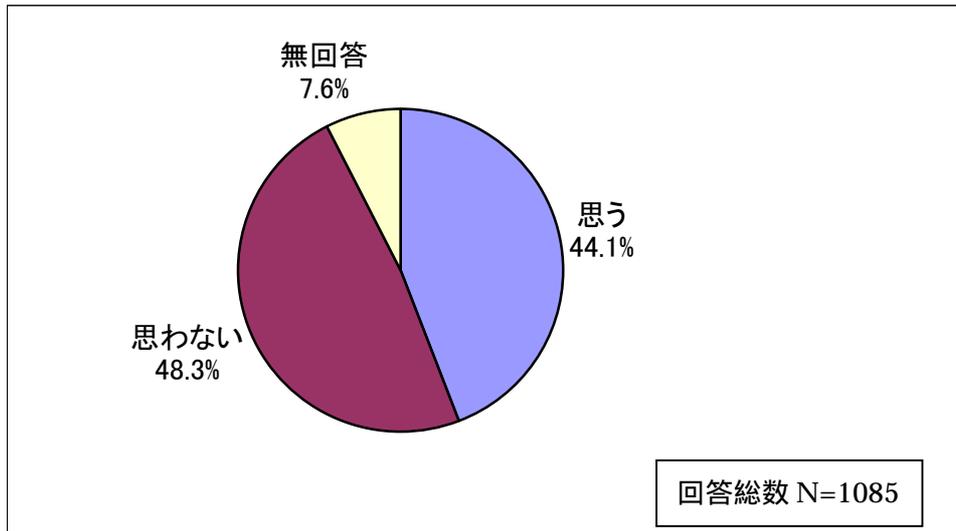


- ・ インターネットに対する不満や不安は、「料金が高い」が50.0%と最も高く、ほぼ同水準で「個人情報の保護に不安がある」が48.3%と続いている。
- ・ 「通信速度が遅い」や「見たい情報の検索が難しい」など使い勝手に不満を感じている人も高い数値を示している。
- ・ 「必要な情報がない」という意見は、8.4%と低く、インターネットで得ることができる情報に不満を感じている人は少ないと思われる。

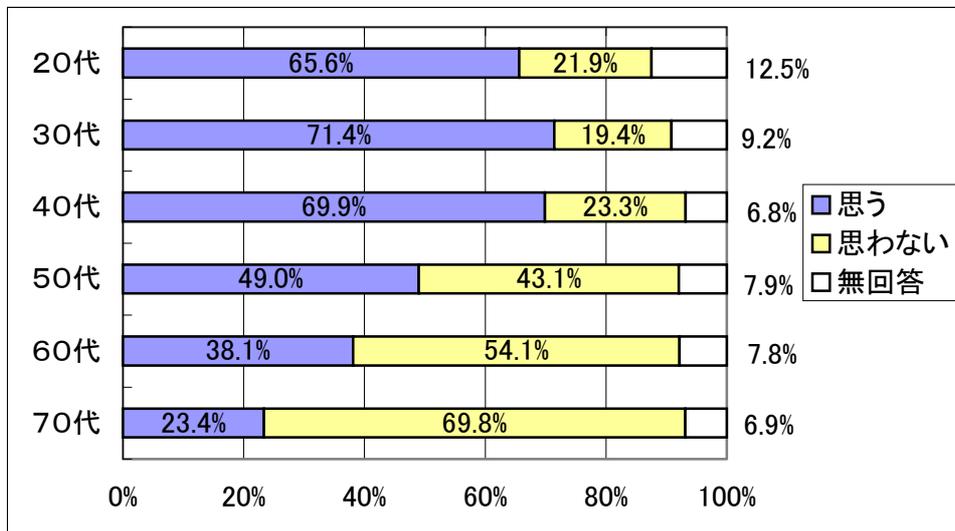
(3) 非利用者の意識

問7.(インターネットを利用したことがない回答者に対して)
 今後利用してみたいと思いますか。

図表33 インターネット利用願望



図表34 年代別インターネット利用願望



- ・ インターネットの利用願望については、今後「利用してみたいと思わない」という回答が、「利用してみたい」をわずかに上回る結果となった。
- ・ 年代別にみると20代から40代までは、「利用してみたいと思う」回答が、「利用してみたいと思わない」回答を大きく上回っており、若い世代は、インターネットを利用してみたいという意向がみられるが、60代以上になると、利用願望が低くなる傾向にあり、特に70代では、「利用してみたいと思わない」回答は、約7割を占めている。

- ・ 利用してみたいと思わない理由には、「必要性を感じない」「操作が難しそう」「高齢だから」「お金がかかる」などがあった。

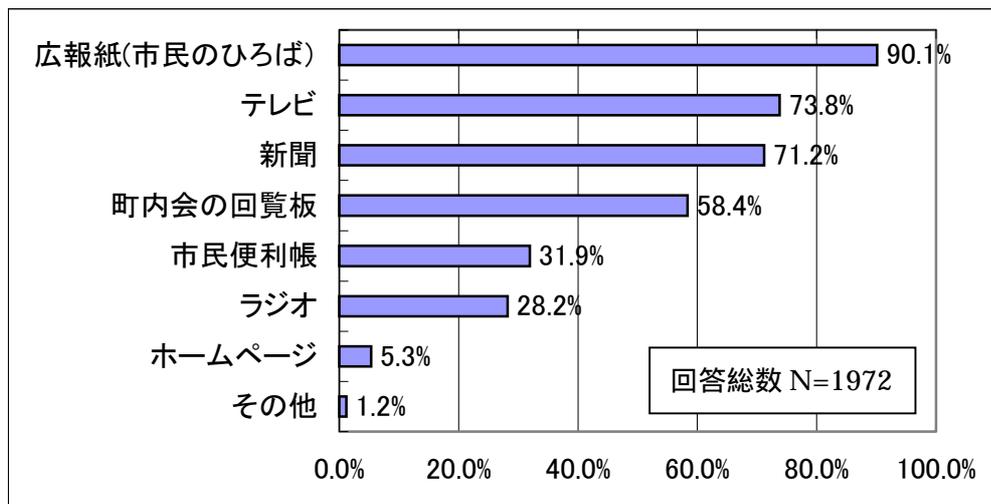
3. 鹿児島市からの情報提供

(1) 情報入手手段の現状

< 8 > 鹿児島市からの情報提供について

問1. あなたは、鹿児島市からの情報を得るために、現在、どのような方法を活用していますか。(複数回答)

図表35 現在活用している鹿児島市からの情報入手手段

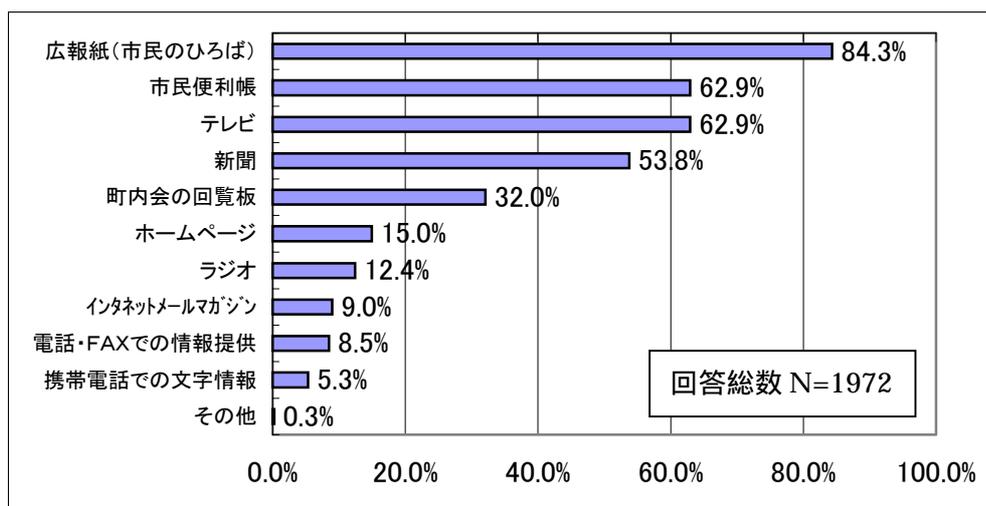


- ・ 鹿児島市からの情報入手手段として、最も高く活用されているのは、「広報紙(市民のひろば)」の90.1%である。次いで、「テレビ」の73.8%、「新聞」の71.2%の順で70%を超えている。
- ・ ホームページの利用は、5.3%と低い。

(2) 情報入手の最適手段

問2．鹿児島市から市民の皆さんへの情報提供の方法としてどのようなものが良いと思いますか。(3つまで回答)

図表36 鹿児島市からの情報入手最適手段

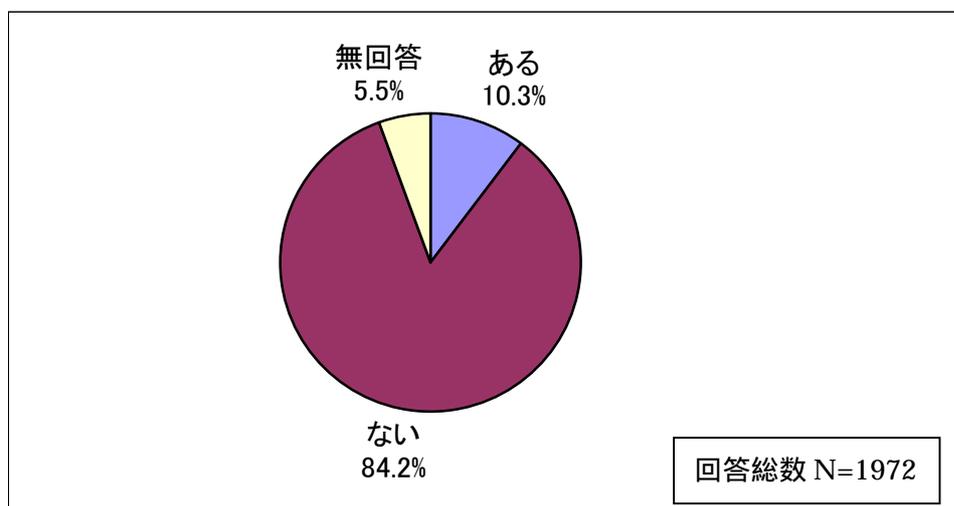


- ・ 情報入手手段として最も適していると思われるのは、現在利用されているものと同様「広報紙(市民のひろば)」で84.3%である。
- ・ 現在、「ホームページ」を活用している人は5.3%であったが、最適手段としては、「ホームページ」は15.0%となっており、「インターネットメールマガジン」「携帯電話での文字情報」など情報通信機器による情報提供への期待がうかがえる。

(3) 鹿児島市のホームページの利用
利用状況

問3．あなたは、鹿児島市のホームページを見たことがありますか。

図表37 鹿児島市ホームページ利用率

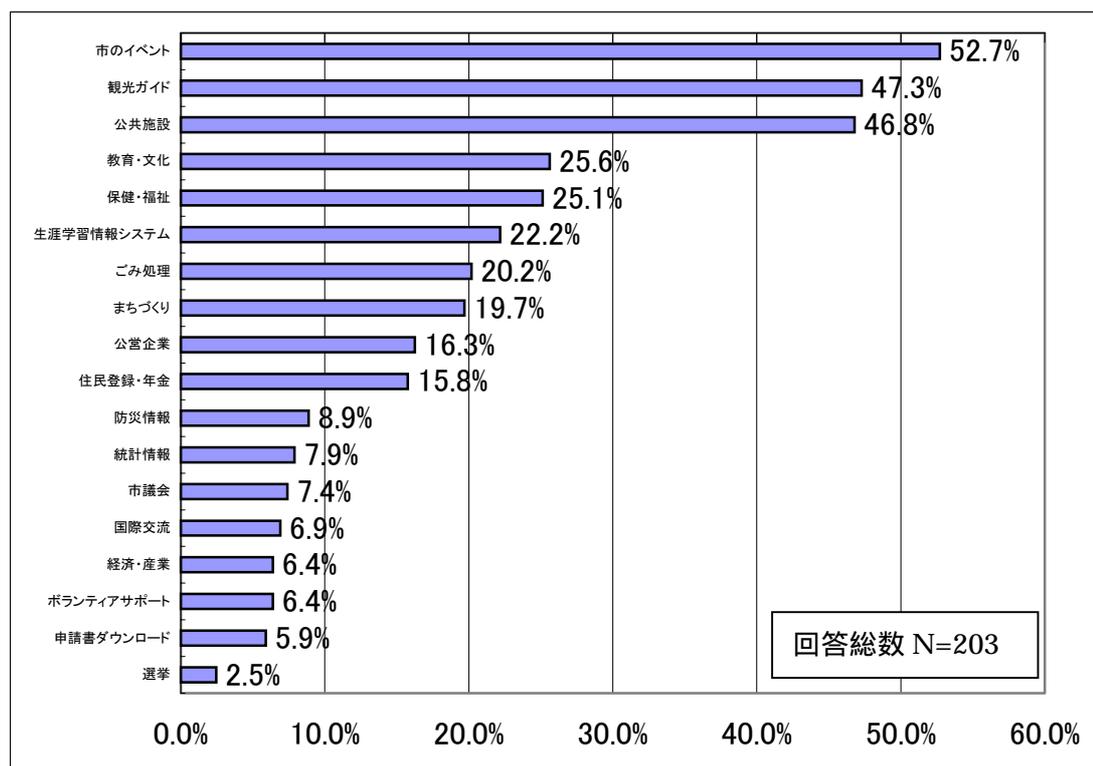


- ・ 鹿児島市のホームページを見たことのある人は、全体の10.3%となっている。

項目別の利用状況

問4．主にどのページ・サービスを利用していますか。(複数回答)

図表38 鹿児島市のホームページ利用状況(利用したことのあるうち)

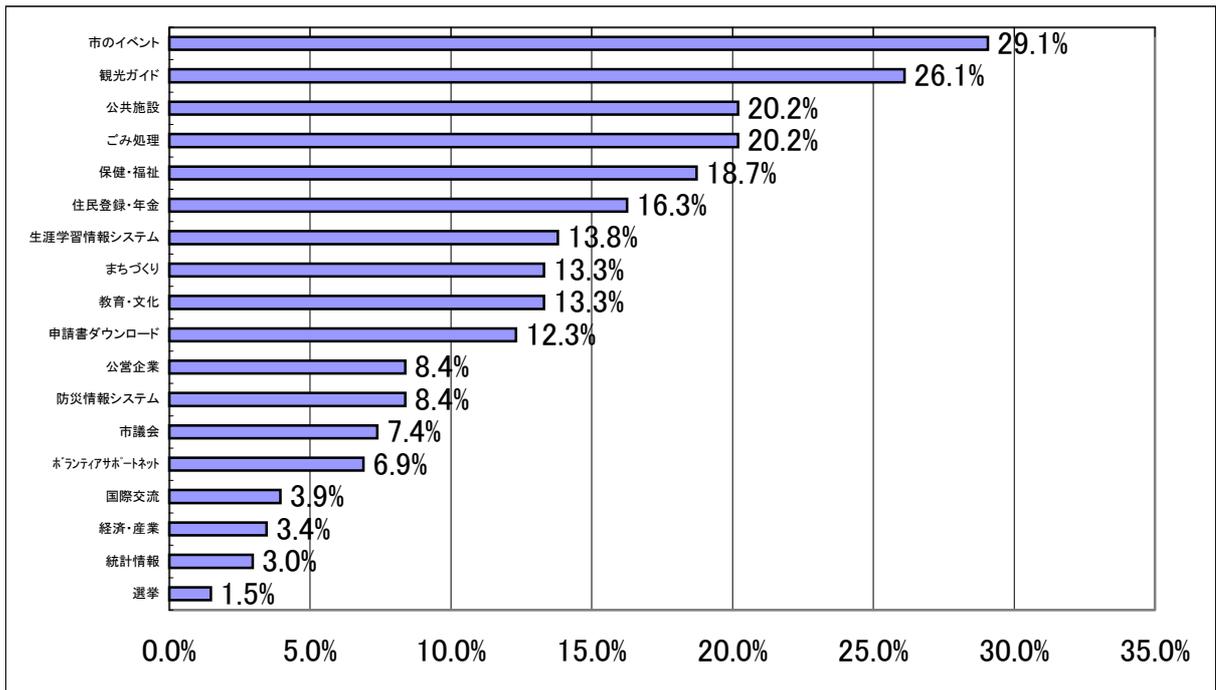


- 鹿児島市のホームページで最も利用されているのは、「市のイベント」に関するページの52.7%で、次いで「観光ガイド」「公共施設」に関する情報が利用されている。

回答総数 N=203

問5 . 問4 に掲げた項目で、さらなる情報の充実を希望されるものはどれですか。
(3つまで回答)

図表39 鹿児島市のホームページでさらなる情報の充実を希望するもの

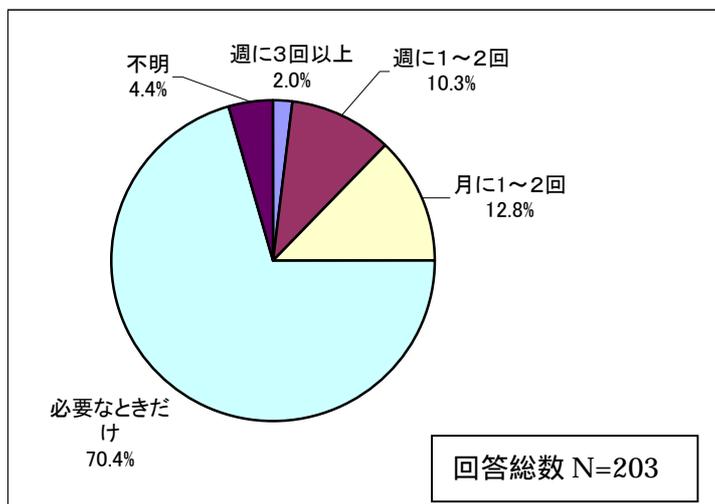


- 鹿児島市のホームページの中で、さらなる充実を求められているページは、先の利用状況とほぼ同じ傾向を示し、最も高い数値を示しているのは、「市のイベント」に関するページの29.1%で、次いで「観光ガイド」「公共施設」に関する情報と上位3位を同じ項目が占めている。利用頻度の高いページに対しての希望が高いことがうかがえる。

利用頻度

問6 . 鹿児島市のホームページを平均して、どれくらいの頻度で利用していますか。

図表40 鹿児島市のホームページ利用頻度



- ・ 鹿児島市のホームページの閲覧頻度は、「必要なときだけ」が最も高く、70.4%で圧倒的多数を占めている。
- ・ 利用者の中の約1割を超える人が、週に1回以上利用している。

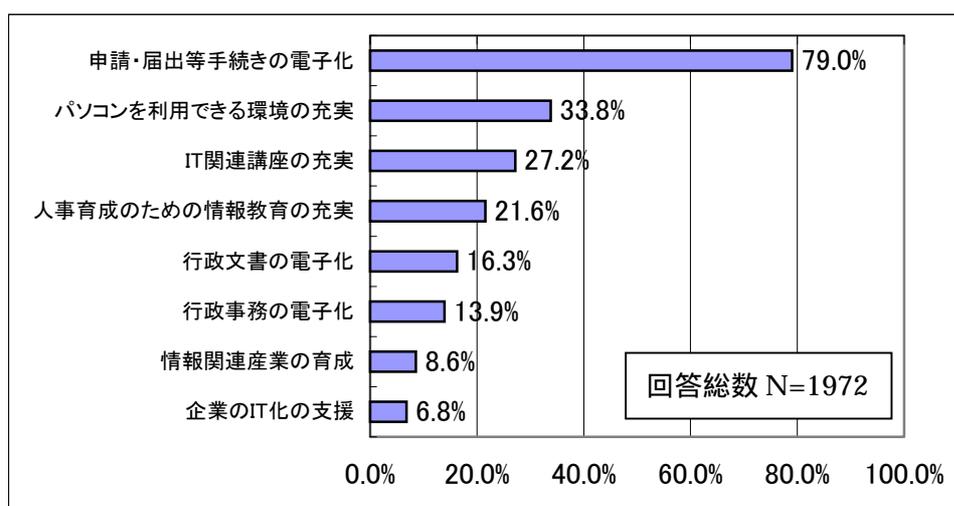
4. IT、電子市役所

(1) IT社会の実現のための重要な取り組み

< 9 > 「IT」「電子市役所」について

あなたは、「電子市役所」など「IT社会」の実現に向けどのような取り組みが重要であると考えますか。(3つまで選択)

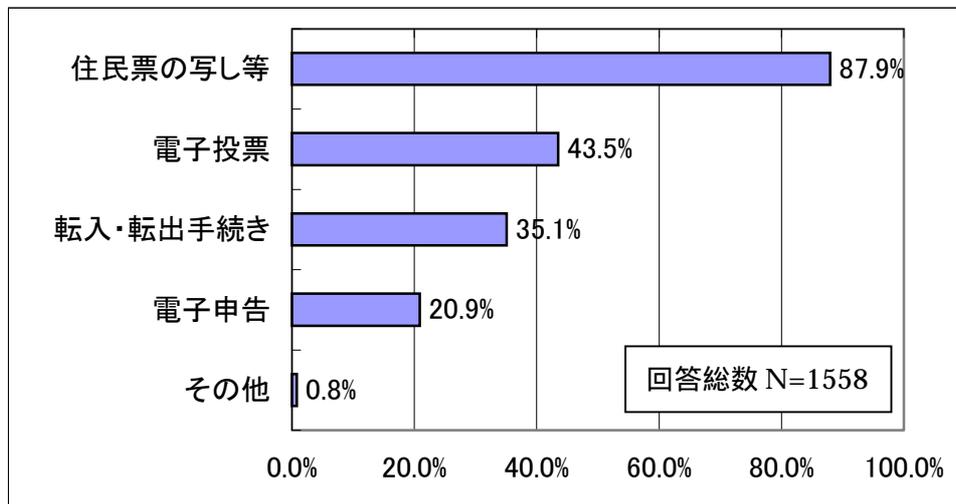
図表4-1 「電子市役所」「IT社会」の実現のための重要な取り組み



- ・ 「電子市役所」「IT社会」に対して、市民が最も重要だと考えているのは、「申請届出等手続きの電子化」が79.0%と圧倒的に高い数値を示している。
- ・ 「誰もが気軽にパソコンを利用できる環境の充実」や「IT関連講座の充実」、「情報教育の充実」など、パソコンを利用するための教育の充実や利用環境等の整備が重要であると考えている人も多い。

「申請・届出等手続き等の電子化」のうち期待するサービス（2つまで選択）

図表 4 2 「申請・届出等手続きの電子化」に期待するサービス

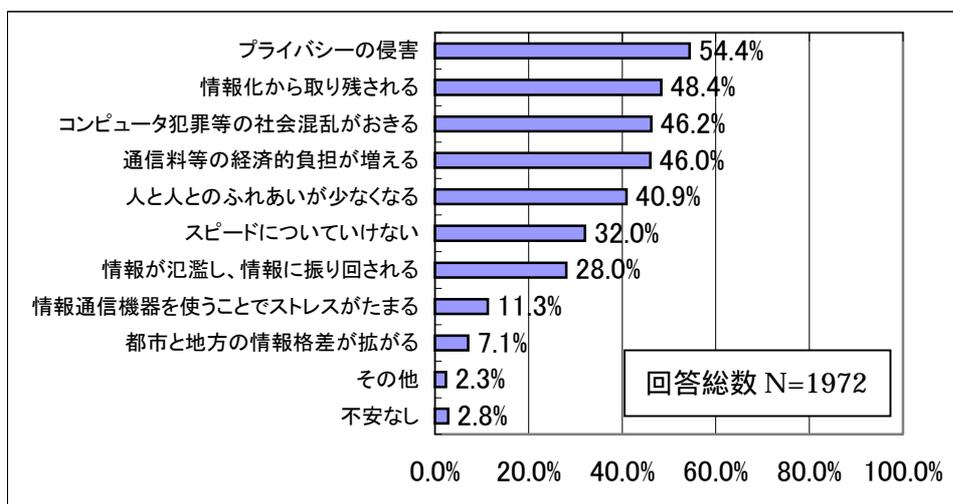


- ・ 「申請・届出等手続きの電子化」におけるサービスで市民が最も期待しているものは、「住民票の写しや各種証明書等の取得」の87.9%で、次いで、「電子投票」の43.5%となっている。

(2) IT 進展に対する不安

問2. 「IT」の進展に対して、どのような不安を感じますか。(複数回答)

図表4.3 「IT」に対する不安



- ・ 「IT」の進展に対する不安としては、「プライバシーの侵害」「情報化から取り残される」「コンピュータ犯罪等の社会混乱がおきる」「通信料等の経済的負担が増える」が、いずれも50%前後の高い割合を示しており、セキュリティへの不安やデジタルデバイドの問題が大きいことがわかる。